

神話スライド s e t シリーズ

月をつかまえた子供

(インディアンに伝わる物語)

スライド枚数 : 17枚
時間 : 5分から7分
イラスト : 三善 和彦
高部 哲也
※ 音響テープあり (寺瀬今日子 4分59秒)

LIBRA CORPORATION



1.

まん丸の満月。
その表面にある、黒い模様。

みなさんは、何の形に見えますか？



2.

日本では、昔からこの模様を、餅つきをするうさぎに見立てていました。

月にうさぎが住んでいる、という言い伝えも、そこから生まれたものでしょう。

でも実は、この月の模様、世界中で、いろいろに見られてきたのです。



3.

たとえば、ろば。

これは、ロバが日常生活の中で慣れ親しんだ動物だった地域の見方でしょうし・・・



4.

他にも、女の人の横顔、とか、かに、とか・・・。

一つ一つあげていけば、きりがありません。

そんな中で、あるインディアンに伝わる物語は、ちょっとユニーク。

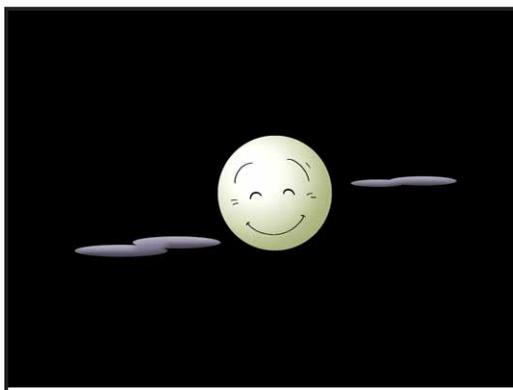


5.

それは、こんな風に始まります。

8

+音変わり

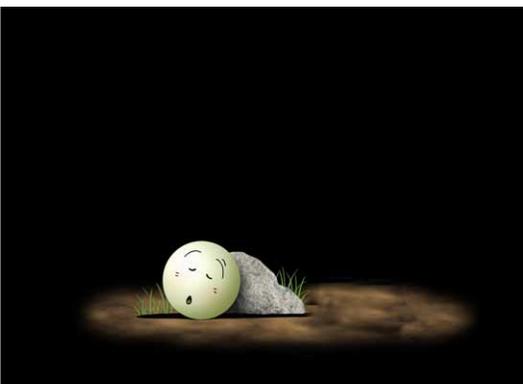


6.

昔々、月の顔には、ほんの少しのしみもなく、光り輝いていました。

いつもまん丸で、太陽の沈んだ 地上を、その柔らかな光で、満たしていたのです。

でも、いくら月でも、働きづくめは、くたびれます。

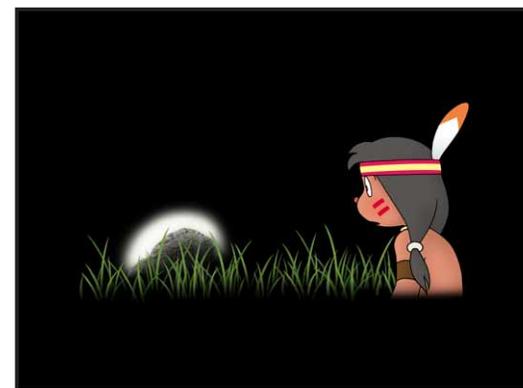


7.

そこで、月はいつも、昼間のうちに、こっそり地上に降りては、野原で昼寝をしていました。

そこは、静かで人気もなく、休むには絶好の場所だったのです。

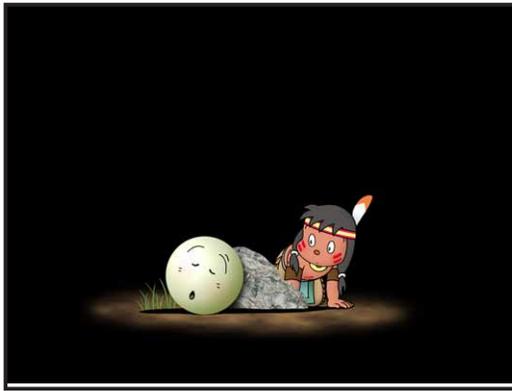
+音変わり



8.

ところが、ある日、その野原に、一人のインディアンの子供がやってきました。

そして、野原の一部がぼーっと白く光っているのをみつけたのです。

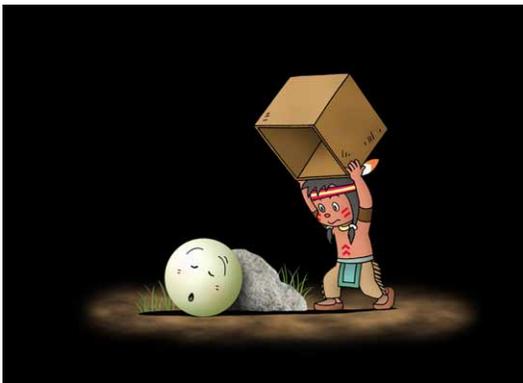


9.

「なんだろう？」

こっそりのぞいた男の子は、びっくり仰天。
だって、そこでは、お月様が昼寝
をしていたのですから。

3



10.

「ようし、つかまえちゃえ！」

男の子は、どこからか箱を持ってくると後ろから
こっそり、忍び寄りました。



11.

「えい！」

驚いたのは、月の方。

こんなところでつかまって、空へ帰れなくなっ
たら大変です。

ガタガタガタガタ、それはもう必死になって、逃げ
ようとしたが、男の子も一生懸命押さえている
ので、どうにもなりません。

3



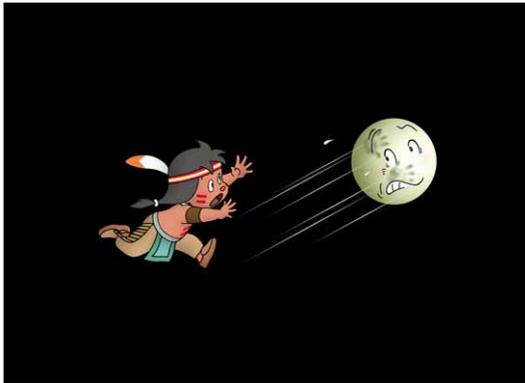
12.

しばらくして、突然、静かになりました。

コトリとも音がしません。

「もしかして、死んじゃったのかな？」

心配になった男の子は、そうっとふたを開けてのぞ
いて見ました。



+音変わり

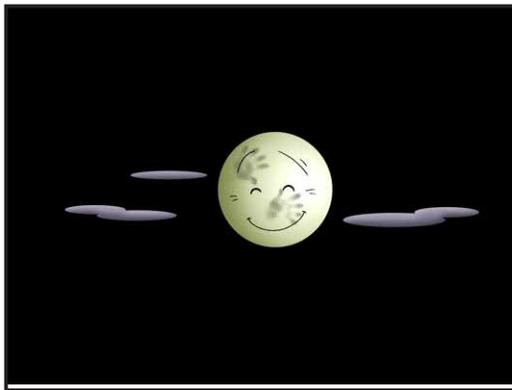
13.

その瞬間、隙間から月がすっくと逃げ出しました。
あわてて、手を伸ばした男の子ですが、間に合いません。

ほんのちょっと手が触れただけで、月は逃げていってしまいました。

でも、月にとってあいにくだったのは、男の子の手が泥だらけだったこと。

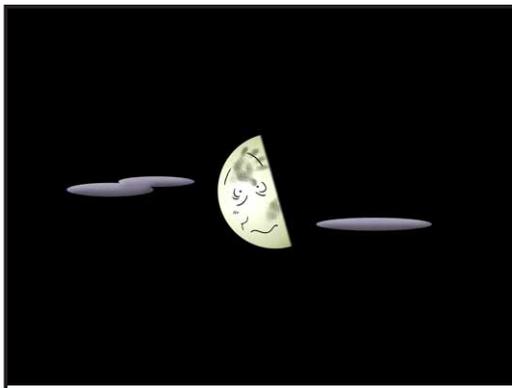
ぴかぴかの顔に、しっかりと男の子の手形が残ってしまいました。



+音変わり

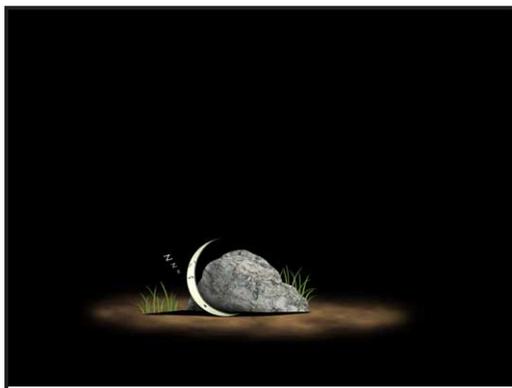
14.

それ以来、月は、とても用心深くなって、めったに昼寝をしなくなりました。



15.

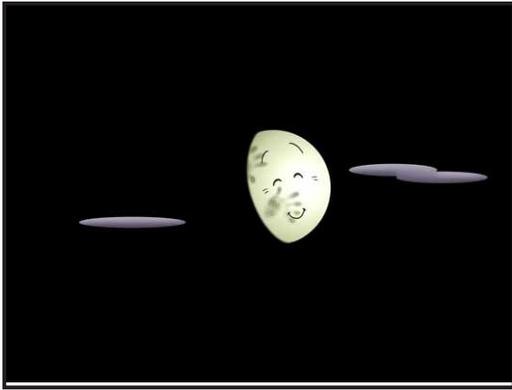
でも、疲れがたまっていくと、月はだんだん、やせていってしまいます。



16.

そして、すっかり細くなって光が弱くなってから、1日だけたっぷり、野原で昼寝をするのです。

もう二度と、人間に見つからないように。



17.

すると、また少しずつ太りだし、しばらくは元気に地上を照らしてくれるのです。

そう、このときから、月の顔には、子供の手形がつき、満ち欠けするようになったのです。